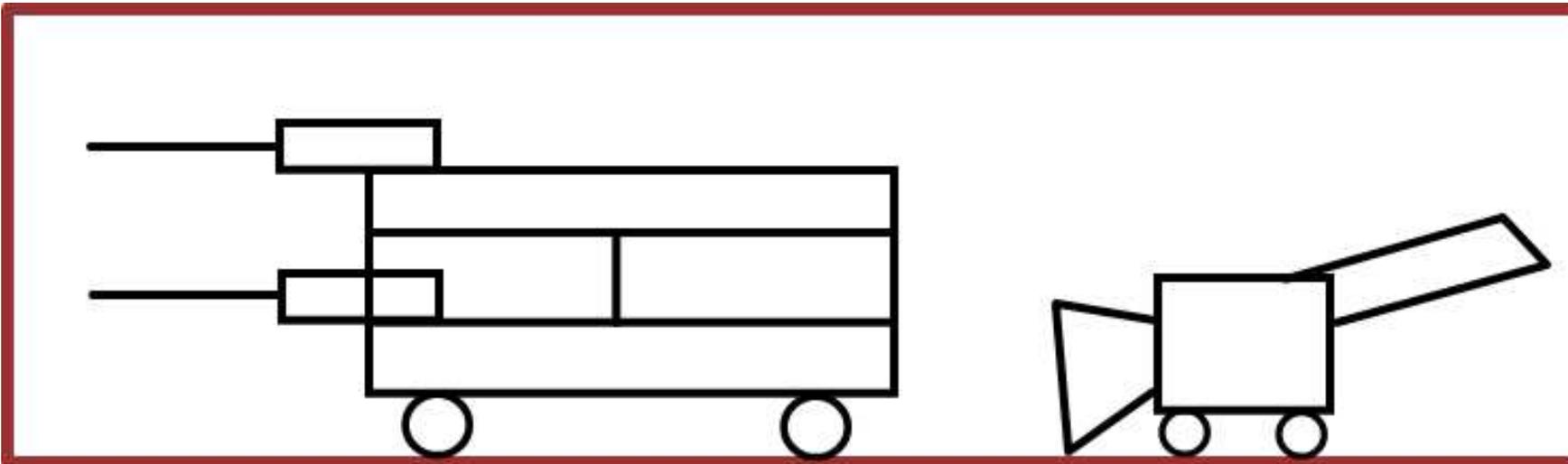




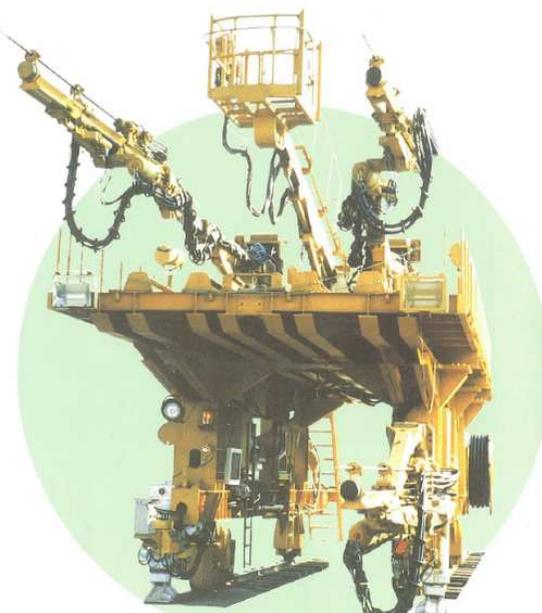
新宮川ダム仮排水路 死亡事故 平成7年2月28日

作業 トンネル掘削工



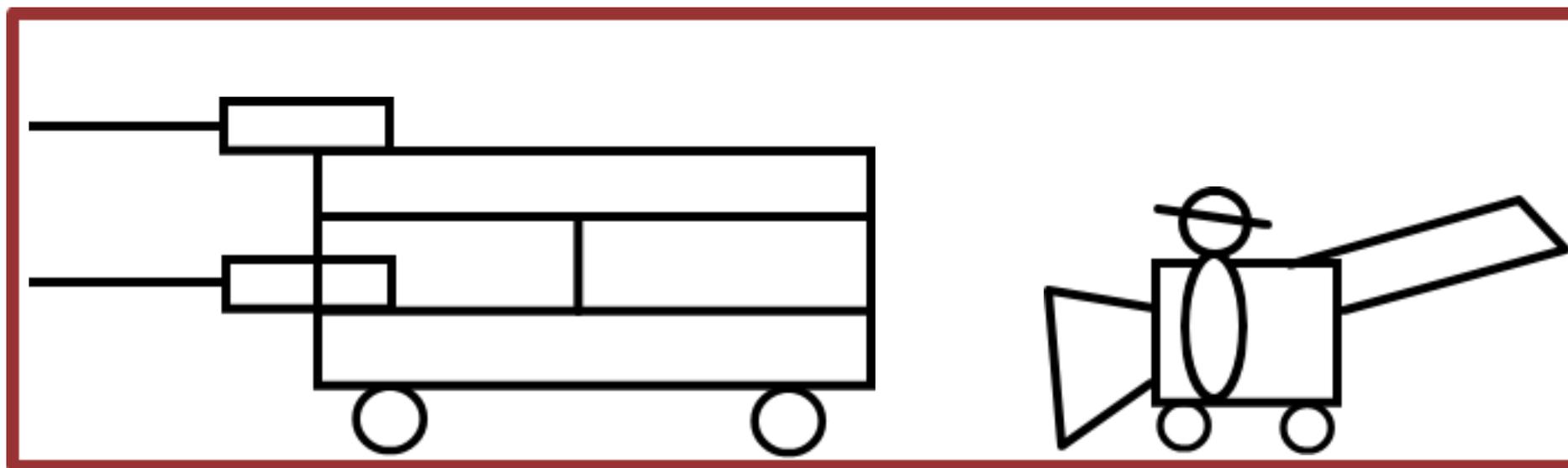
掘削...ガントリ油圧ジャンボ

ロッカーシャベル



機械写真はイメージで、その時のものとは異なります。

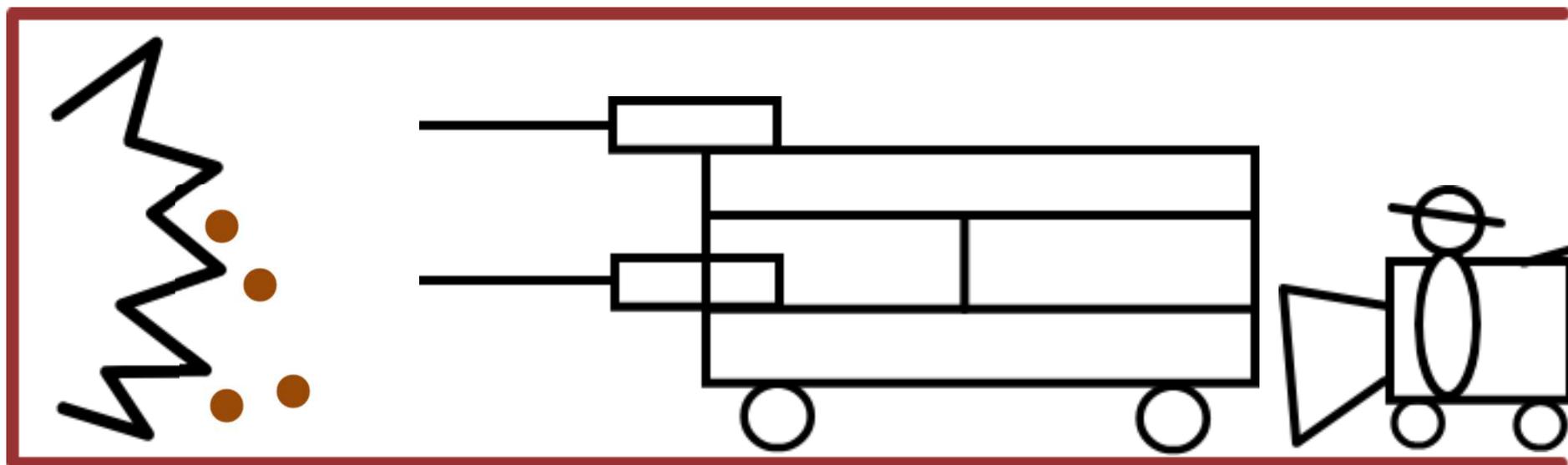
1. 削孔



削孔

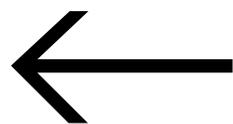
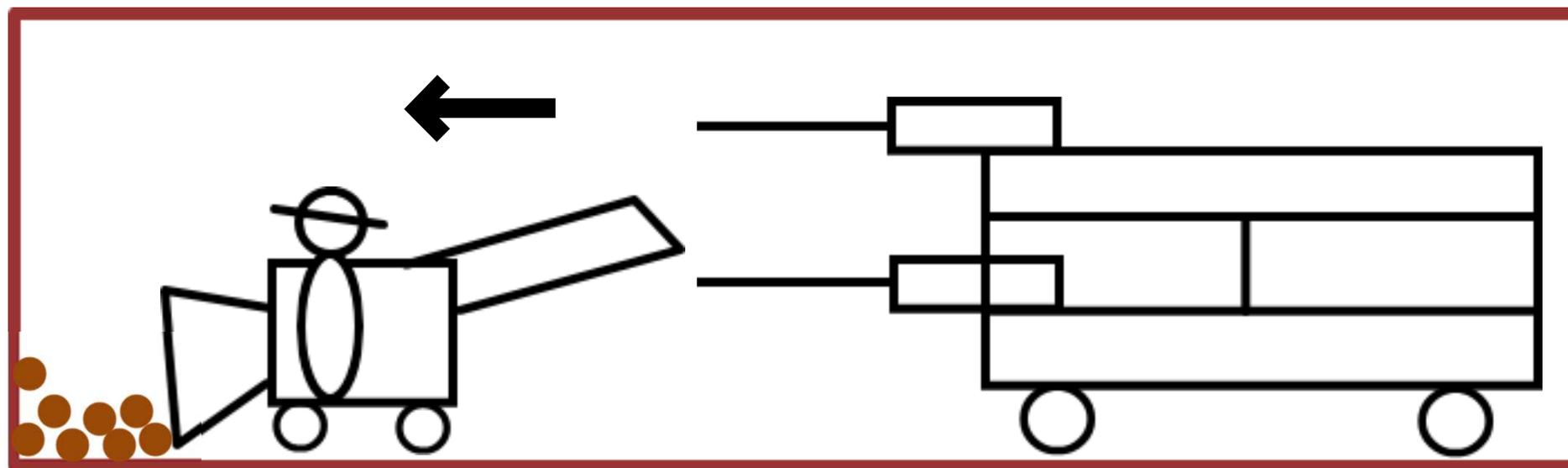
待機

2. 削孔完了・発破



退避

3. ロッカーシャベル移動

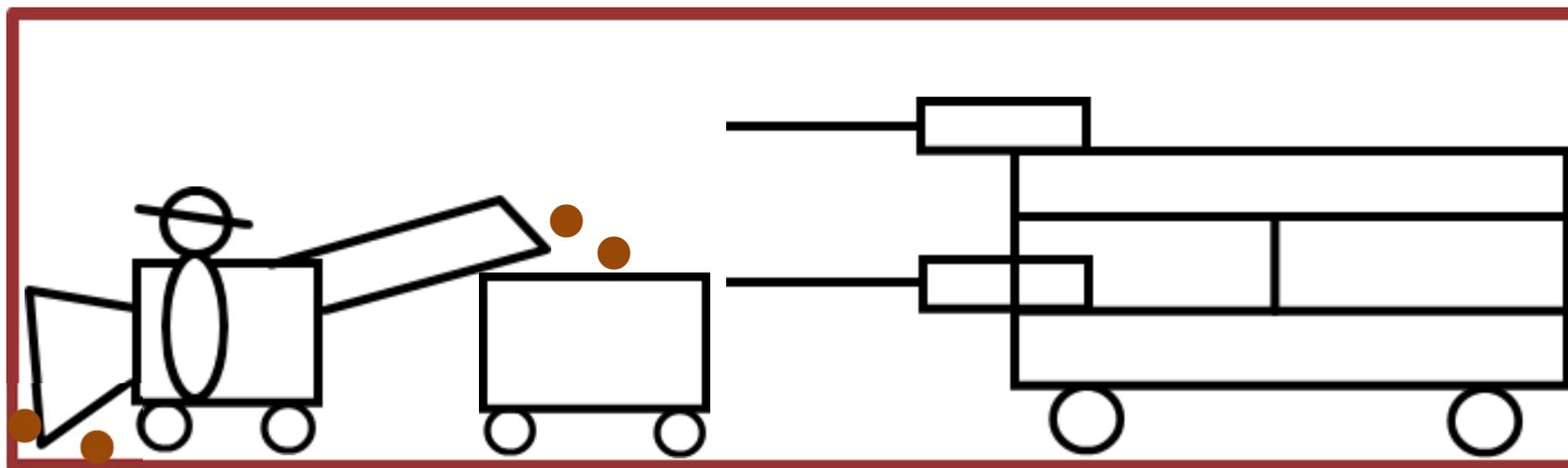


入場



退出

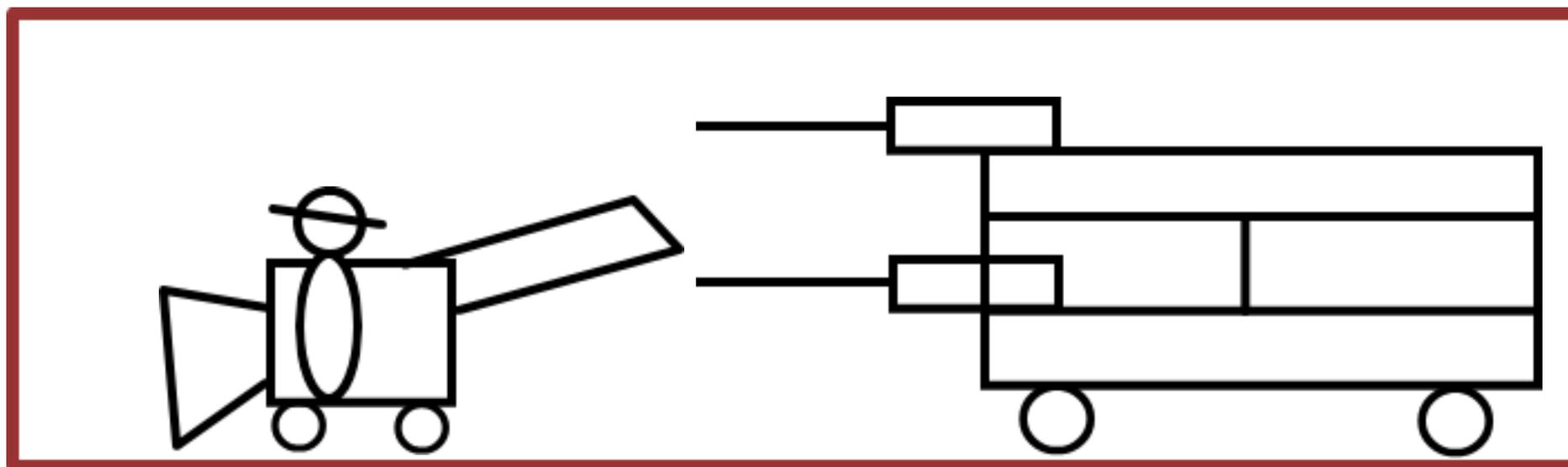
4. ズリ処理



ズリ処理

待機

5. スリ処理完了・削岩機入場

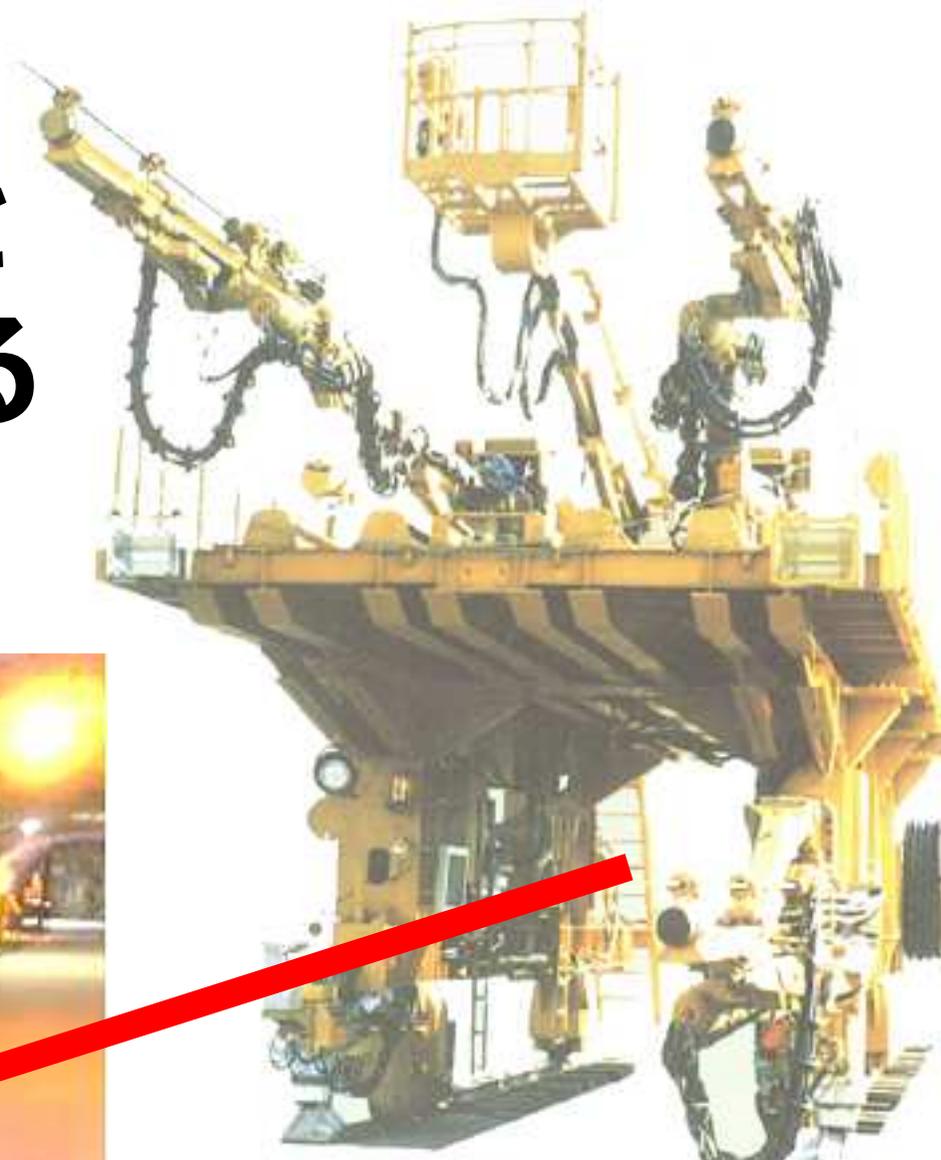


退出

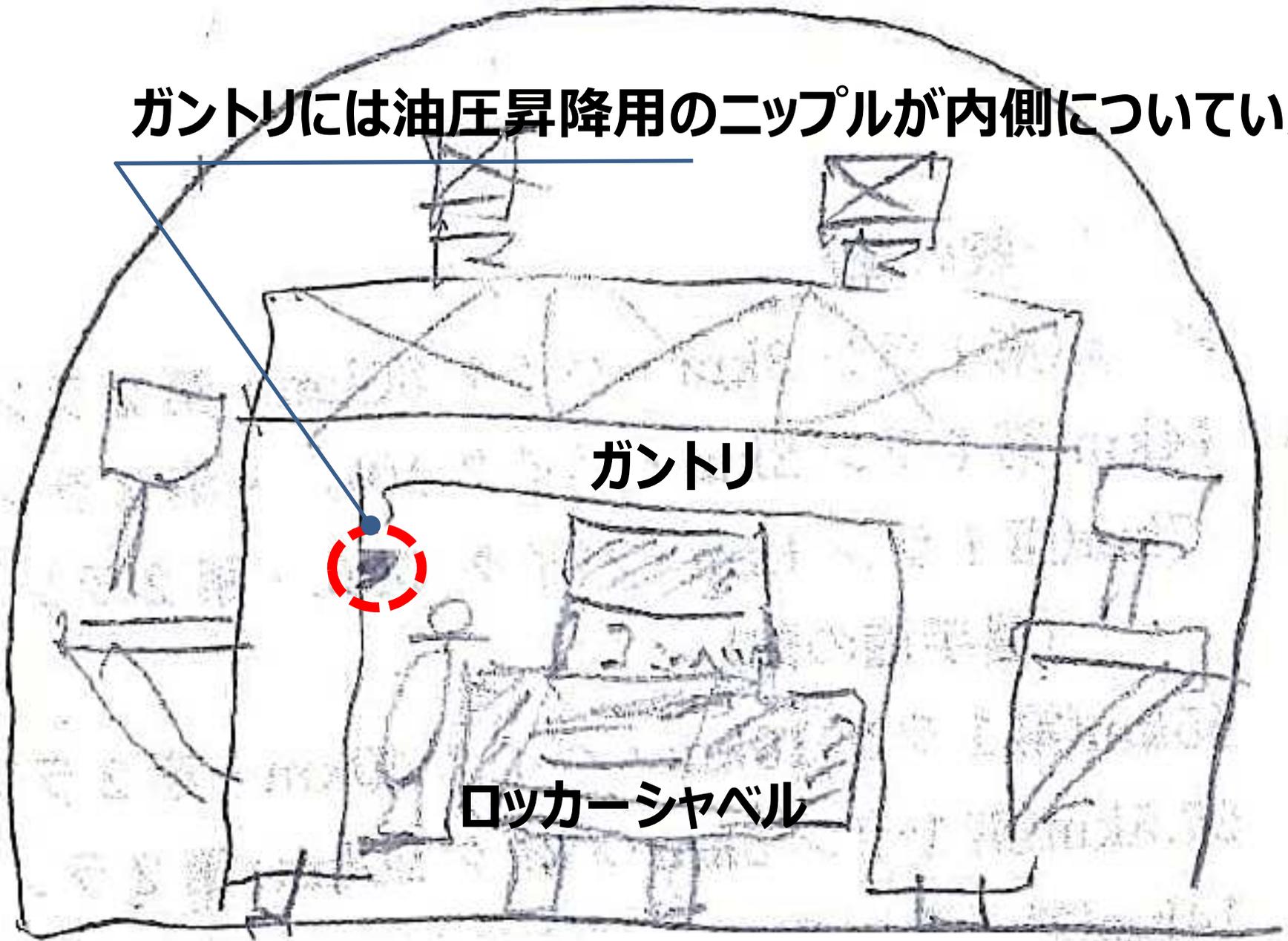


入場

ガントリの内部を
通って入れ替える



ガントリーには油圧昇降用のニップルが内側についていた



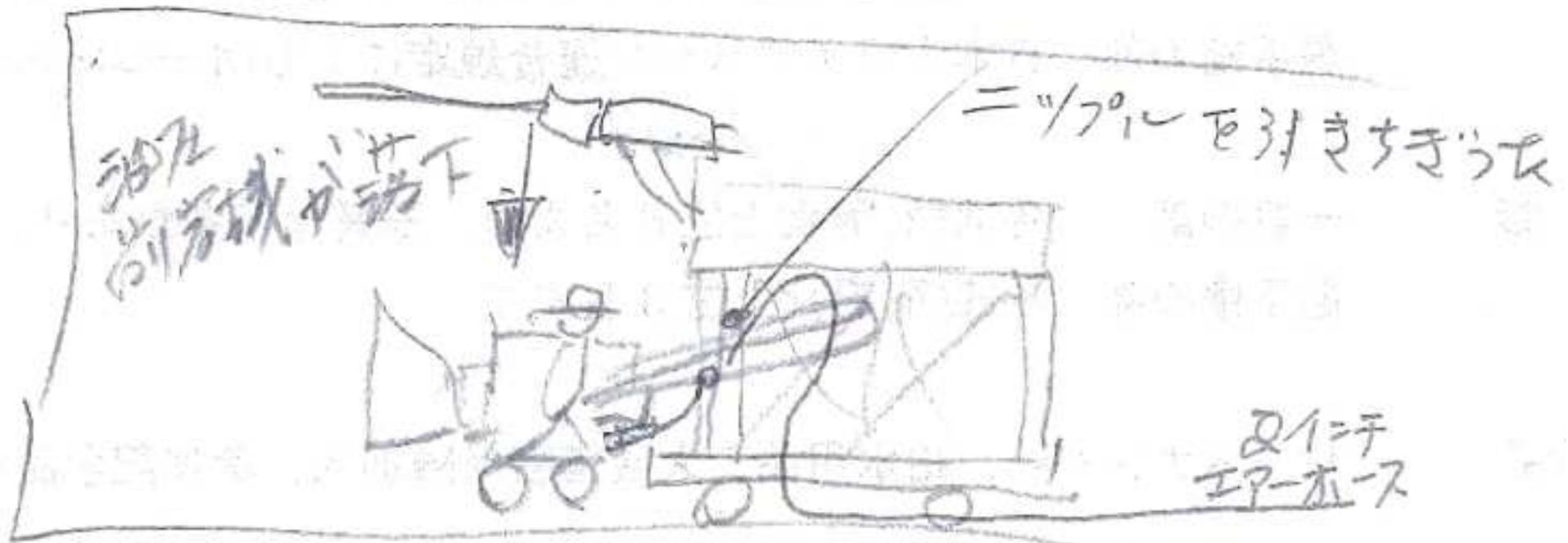
ガントリー

ロッカーシャベル

1 サイクルの中で、ロッカーシャベルが
ガントリ内をズリ取りの前後 2 回通過する。

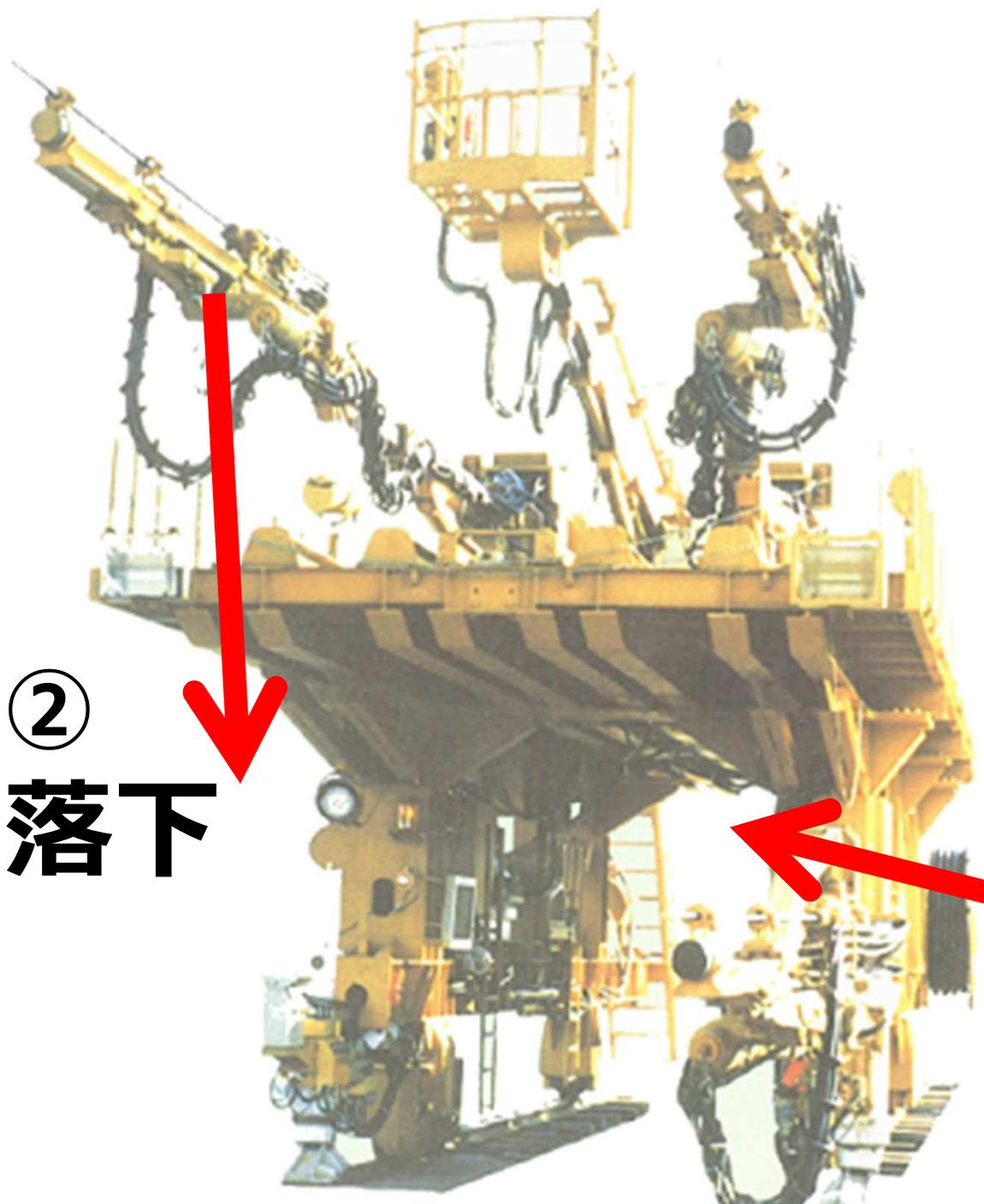
通過時の機械幅は余裕約 5 cm という条件で
内側に油圧ニップルが突出していた。

→「危ない」という認識はなかった。



通過時にロッカーシャベルのエアホースが
油圧ニツプルに引っかかたまま引きちぎり
ジャンボの油圧削岩機が落下し
ロッカーショベル運転手に接触

②
落下



①
内側にあった
油圧ニップルが
引きちぎられ

死因 = 外傷性窒息

機械によって挟まれたり，階段で将棋倒しになったり，土砂に埋まったりして胸部を強く圧迫されることで発症する。

発生状況ポイント

- リスクに気づいていなかった
 - ⇒ 同現場ではその後も事故が続く
 - ⇒ リスクに気づけない、気づいても実行しない
- 1 サイクルの中に潜む重大災害の要因に気づいて対処する感性がない

建設業者を書類送検

労災で会津労基署

会津労基署は十七日、労働安全衛生法違反の疑いで福島市飯坂町平野字地蔵田八ノ一、寿建設（森崎俊紘社長）を地検会津若松支部に書類送検した。

調べでは、寿建設は二月二十八日午後三時四十分ごろ、会津高田町松坂地内の

ダム建設工事現場で、労働安全衛生法に定められた作業上の措置を怠り、同社の作業員がトンネル掘削用機械の下敷きとなり死亡した。

処分